

第1回ユニセフシンポジウム実行委員会

2023年9月30日(土)14:00~16:00

ユニセフ事務局オンライン会議

1. 世良副会長 挨拶

「だれ一人取り残さない世界をめざして」というテーマで今回シンポジウムを開催する。

熊本においては人権とか子どもの権利条約については浸透していない部分があり、熊本で、色々な地域で、人権について自分たちで考える良いチャンスだと思う。

健康についても、就学率についても世界でトップの位置を占めるのに、幸福度に関しては38ヶ国中37位と低い。幸福度がどうすれば高まるか皆で理由を考えて改善していけば高まるのではないかな。

10年前、高須大使をお招きした時、人間の安全保障の代表として話してくださった。

今回自分たちの人権について話し合っていきたい。

2. 保田事務局長 挨拶

前期とは違って今期はイベントごとに実行委員会を立ち上げて参加者を募りリーダーを決めていきたい。

皆さんは人権とか人間の権利について話し合ったりするか？

一人ずつ自己紹介しながらどんなことを学んでいきたいかを発表してほしい。皆さんがどんなことを思っているかを高須大使に伝えて一緒に考えていきたい。

3. 自己紹介と学びたいことの発表

熊本高校2年 Kさん

今回シンポジウムの学習会に参加することで将来の大学ややりたいことに繋がるかを考えていきたい。

先日九大の講義(ゼミ)を拝見した時、東南アジアの食文化について経済的格差があることを知った。国内のSDGsの問題もあるが、誰一人取り残さないことを考えて世界に目を向けていくことを目指したい。2か月間宜しくお願いします。

第一高校2年 Sさん

高校では英語コースに入っている。

国際平和について考えたいと思っている。ロシア・ウクライナ戦争で人権が侵害されていること、どうして戦争が起こるのか考えていきたい。

きれいな水を飲むことなど自分たちが当たり前と思っていることが、世界に目を向けると当たり前でない地域がある。

世界的に有名なユニセフに入って学んでいきたい。

マリスタ高校2年 Aさん

国際平和に興味を持っていてウクライナの子どもたちがロシアに連れていかれて強制的に洗脳されていること、平等に意見が言えないミャンマーのロヒンギャ、信じている宗教で人権が迫害されていることなどについて学び、発信していきたい。

信愛高校2年 Fさん

世界で起こっている新しい情報を得るために実行委員会に入った。

信愛高校2年 Sさん

私も新しい情報を得るために実行委員会に入った。SDGsや平等を考える時、LGBTQのことも思うと自分では良い答えを見つけることができないので、ユニセフに入って皆で考えていきたいと思った。

信愛高校2年 Mさん

1年の時アフリカの子どもの日に参加して、日本では当たり前と思っている学校に行くこと、教育を受けることが当たり前ではない子どもたちのことについて、深く考えて解決策を探りたいと思った。

熊本大学附属中学校 Tさん

社会や学校で学ぶ機会が少ないLGBTQについて興味がある。知識が浅いのでシンポジウムで不透明さを解消していきたい。

阿蘇中央高校 Kさん

人権については中学の授業で学んだが、もっと詳しくシンポジウムで学べたらいいと思う。

信愛女学院高校2年 Hさん

人権について考えたことないが、ロシアウクライナの子どもたちのことをニュースで見たいと思った。

信愛女学院高校2年 Mさん

友人に誘われて実行委員会に入った。

人権侵害のこと、LGBTQのことを考えたいと思う。

信愛女学院高校1年 Kさん

シンポジウムことはホームページで知った。個人の子どもの人権を大切にすることを目標にしたい。知らないことが多いので、少しでも人権について考えを深めていけたらと思う。

信愛女学院高校2年 Hさん

SDGsのことは言葉としては知っているが色んな問題点は知らないなので、実行委員会に参加して十分に食事出来ていない人々のこととかについて学びたい。

信愛女学院高校 2年 Tさん

福祉に興味がある。障害を持っている子どもたちが安心して暮らせる SDGs の誰一人取り残さない社会(インクルーシブ社会)について学びたい。

信愛女学院高校 2年 Nさん

SDGs のジェンダーについて興味がある。

管理職の女性が少なかったり、賃金格差について考えたい。

第二高校 2年 Sさん

日常生活の中で女性らしさ、男性らしさということについて意識していなくても思いこんでいる部分がある。男だから、女だからしてはいけないことがあってはいけない。同じ人間として、性別で分けられるものではなく個性として捉えなければならないと思う。LGBTQ のことについても考えたい。

千原台高校 2年 Tさん

私たちはいつでも好きなものを食べられるけどアフリカはそうではない。アフリカの現状を知りたいと思う。

4. 高須幸雄氏 基調講演について

皆さんから出た問題意識を踏まえてこれから一緒に研究していきたいと思う。

「だれ一人取り残さない世界をめざして」というテーマに沿って、SDGs からの理念である人権が守られる世界について、国外、国内の両面から考えていきたい。

人権が根こそぎ守られていない実態がある。日本に来ている外国人についても考えてほしい。

参考となる資料として「私たちがつくる持続可能な世界」「子どもの権利条約カードブック」

この 2冊については実行委員会で読んで欲しい。

持続可能な開発のためには、持続可能な地球、持続可能な生活(平和な世界)でなければならない。

第 1 次世界大戦も第 2 次世界大戦も開発が進んだ国同士の戦争であった。

しかし現在は、自由が制限される独裁的政治、国民が抵抗できない、人権が守られない独裁国家が戦争を引き起こしている。

民主的国家は戦争しない。政府に抗議することができるし国民は同調しないから抑制される。

(人権が守られている)

[平和] [開発] [人権] 三つが三角形となって三本柱になっている。

平和と人権が守られなければ開発は出来ない。

人間らしい生活をするためには社会環境(男女平等)が整っていなければならないし経済的安定(インフラ)も必要となる。

一人一人の尊厳が守られ、国と国の不平等は見直されなければならない。

日本は尊厳が守られているだろうか?→そうでないかもしれない。

持続可能な安定した社会を、団体・個人の連携で守っていかなければならない。

SDGs の世界の普遍的な目標→食べて生きていける(年間 540 万人が 5 歳未満で亡くなる)

→学校に通える(6300 万人学校に行けない)

17の目標を通してどんなことができるか！2030年に誰も取り残されない世界が築けるか！SDGsの理念に近づいているか！

指標だけでは分からない部分がある。

データに大きな限界があり必ずしも内容が意味しない部分がある。

国ではなく地域ごとに細かく何が取り残されているかを調べることが重要。

若い人がこれから行動していく中で3つのテーマ

① 不平等をなくす！

食糧自給率、5歳までの生存率、エネルギー価格などの今までの成果がコロナ、ウクライナ戦争によって大きく後退してしまった。SDGsサミットで中間点の発表があったが15%しか達成されていない危機的状況が分かった。

食糧・医療・教育について悲惨な状況の国に対してレスキュープランが提案された。

国家財政がひっ迫し債務超過で国民も政府も困っている中、国外の協力なしでは切り抜けられない。アフリカ、東南アジアに向けての援助が必要。

世界の貧困をみても、日本の子どもの貧困が深刻で絶対的貧困ではなく相対的貧困で多くの問題がある。可処分所得が低い家庭がどんどん増えている。

男女における賃金格差は全国で違う。熊本県の場合もよく調べると政治、行政が関係している。女性らしさ、男性らしさを重要としていた時代から男女共同参画で前進した部分もあるが、依然体質が残っている部分があり大いに議論してほしい。

② 暴力や差別をなくそう！

先程も述べたが、平和・開発・人権は三角関係になっている。

戦争で誰が一番巻き込まれて被害を受けているか？それは子どもと女性である。

1億1000万人の人々が自分の国に住めない状況がある。

紛争でどれくらいの人が死んでいるか！最大の人道危機である！

日本における暴力(児童虐待)、差別、いじめは深刻であり、自己肯定感が低いことが関与している。

障害者や国籍、社会的立場等の差別も問題である。

世界人権宣言が出来てから75周年になる。

全ての人が生まれながらにして平等・尊厳・自由を持っている。

人間としての価値を尊重する理念である。

子どもは大人になる過程で成長するプロセスを踏む。

ウクライナの子どもたちがロシアで偏った教育を受けることはあってはならない。

ユダヤ人の子どもたちはユダヤ人だからといって殺されることはあってはならない。

そういう悲惨な過去が繰り返されないために子どもの権利条約ができた。

子どもも大人と同じように人間としてみなされ権利が守られなければならない。

③ 地球環境を守ろう！

熊本地震に続いて球磨川の豪雨災害が起こり甚大な被害が出た。

異常気候の影響が大きく、自然災害は防げないが被害を小さくすることは努力すれば出来る。

このようなテーマを選んで、企業、団体、専門家を呼んで皆で考えてはどうか！
誰も取り残さない社会を一緒に考えていきたい。

5. 質疑応答

◎LGBTQに興味がある。人権がその人を一人の人間たらしめる！人間の価値は大人も子どもも変わらない。という言葉が印象に残った。子どもの人権は育っていくプロセスなので大人の配慮が必要だと思う。(付中 辻)

①「SDGsと日本」の中のP89を参考にしてほしい(LGBTQ)

◎SDGsの資料5番にある男女平等を達成すること、全ての人を取り残さない世界にするにはどうすれば良いのか？(熊高 川添)

①性別、年齢、子どもや障害者に至るまで、違いに関わらず全ての人に対する条約が必要！国内だけでなく世界に向けての国際条約を作らなければならない。各市町村での取り組みも重要。

◎SDGsは2030年までに達成するのか？できなかったらどうするのか？(15%しか達成していないのに無理では？) (千原台 田畑)

①2015年にSDGsの目標を立てた。最初は順調に動いていたがコロナで貧困・保健・教育の面で後退しウクライナ問題でとん挫した。

後の7年、SDGsの救済や各国の政治宣言を達成するために残された期間を最大限加速するしかない。その後どうするかが議論されることになる。今はその段階ではない。諦めたり延ばそうとしてはいけない！

6. 保田事務局長より

3～4のグループに分かれて学習していこうと思う。

このシンポジウムのリーダーを決めて生徒に向かって発信してもらいたい。

高須大使のお話を参考にして自分が考えるテーマを出してほしい。

7. テーマ

- 一つのテーマを世界ではどうか、日本ではどうかと分けて考えてはどうか。
- 不平等をなくす ○男女格差 ○世界の暴力・日本の暴力
- 国民の法律と自由度 ○日本の幸福度・文化 ○宗教
- SDGsはどれくらいで達成できるか SDGsの認識度
- 戦争下の子どもたち ○教育の比較 ○自己肯定感
- 日本在住の外国人の人権

8. 次回予定

第2回実行委員会

10/15(日) 14:30～16:30